

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【問題冊子】

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、指示があるまで開かないでください。
2. 問題冊子は、表紙を除き2枚（1～2ページ）あります。
3. 問題は、専門基礎（経済学）および専門（農業資源経済学）の2種類から構成されています。
4. 専門基礎は、内容別に1問ずつ出題した2問あります。志望研究分野に関わらず1問を選択して解答してください。なお、2問解答した場合、専門基礎は採点されません。
5. 専門は、研究分野別に1問ずつ出題した4問あります。志望研究分野の問題を含む2問を選択して解答してください。なお、3問以上解答した場合、専門は採点されません。
6. 選択しなかった問の解答用紙には、大きく「×」を記してください。
7. 解答用紙は、表紙を除き6枚（1～6ページ）あります。
8. 解答始めの合図の後、すべての解答用紙（表紙を含む）に受験番号と氏名を記入してください。
9. 解答は、解答用紙の所定欄に記入してください。
10. 解答用紙の回収の際には、ホッチキス留めを外さずに、すべての解答用紙を提出してください。

専門基礎（経済学）

【ミクロ経済学】

問1. 費用曲線等を利用して、企業の損益分岐点と操業停止点を図解しなさい。

【政治経済学】

問2. 資本主義経済は高度に発達した商品経済である。以下、この商品に関する設問に答えなさい。

- (1) 商品とは何であるかについて、その生産目的の観点から説明しなさい。
- (2) 商品経済の成立条件について説明しなさい。
- (3) 商品のもつ2つの側面について説明しなさい。

専門（農業資源経済学）

【食料農業政策学】

問 1. 利潤の最大化を原則とする資本主義経済においては、賃金水準に強く影響を与える農産物価格の低廉さが絶えず要請される。これに対して、資本主義国家はどのような政策を用いてこの要請に応えようとしてきたのか、日本における実践例を挙げながら説明しなさい。

【農業経営学】

問 2. 農業経営における法人化の利点について説明しなさい。

【食料経済分析学】

問 3. 独占的競争下の市場均衡について、図解しなさい。

【環境生命経済学】

問 4. 環境価値の評価手法として表明選好法と顕示選好法がある。それぞれの代表的評価手法から各 1 例を挙げ、その特徴を説明しなさい。また、環境の存在価値について説明し、これが評価できるのは、どちらの評価手法であるか述べなさい。

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【解答例】

※受験者の専門的知識を踏まえた思考能力及び問題解決能力を
評価する設問であるため非公表とする。

令和7年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【出題意図】

専門基礎（経済学）

問1．ミクロ経済学に関する基礎知識を問う。

問2．政治経済学に関する基礎知識を問う。

専門（農業資源経済学）

問1．食料農業政策学に関する専門知識を問う。

問2．農業経営学に関する専門知識を問う。

問3．食料経済分析学に関する専門知識を問う。

問4．環境生命経済学に関する専門知識を問う。